

ドラム缶の埋立確認状況

No. 2 処分場

	確認本数	内容物の確認本数											空	計
		液状物					固形物							
		50L以下	50~100L	100~150L	150~200L	小計	50L以下	50~100L	100~150L	150~200L	小計			
西側地点 SB-1	97	14	11	10	8	43	6	12	6	6	30	24	97	
東側地点 10B	327	37	77	68	34	216	10	16	18	47	91	20	327	
合計	424	51 (12%)	88 (21%)	78 (18%)	42 (10%)	259 (61%)	16 (4%)	28 (7%)	24 (6%)	53 (13%)	121 (29%)	44 (10%)	424 (100%)	

(注1) 合計欄下段の( )は、総本数(424本)に対する割合である。

**【SB-1 (西側地点)】**  
 ○地質について  
 前回掘削時の埋戻土が約5m(E.L48.0まで)埋まっており、その下底盤部まで(E.L45.0)はがれき類主体廃棄物が埋まっていた。  
 ○ドラム缶本数について  
 ドラム缶の撤去本数は97本で、そのうち液状物入りが43本、廃プラスチック類などの固形物入りが30本、空缶は24本であった。  
 ○ドラム缶の確認深さについて  
 掘削深さ約8mに対して、深さ5m~8mの区間で97本確認された。  
 特に6m~7m (E.L47.0~E.L46.0)の区間で多く、45本(47%)確認された。

**【10B (東側地点)】**  
 ○地質について  
 現地盤から約1.5m(E.L52.5)まで覆土が埋まっており、その下1.5m(E.L51.0)には木くず主体廃棄物が埋まっていた。E.L51.0~E.L45.0(底盤部)まではがれき類主体廃棄物が埋まっていた。  
 ○ドラム缶本数について  
 ドラム缶の撤去本数は327本で、そのうち液状物入りが216本、廃プラスチック類などの固形物入りが91本、空缶は20本であった。  
 ○ドラム缶の確認深さについて  
 掘削深さ約9mに対して、深さ5m~9mの区間で327本確認された。  
 特に突出して確認された深度はなく、深さ5m~9mの区間でまとまった形で確認された。

西側地点 SB-1

10月10日 深さ 5.0~5.5m



10月16日 深さ 6.0~7.0m



10月21日 掘削完了(深さ 約8.0m)



東側地点 10B

11月 3日 深さ 5.0~5.5m



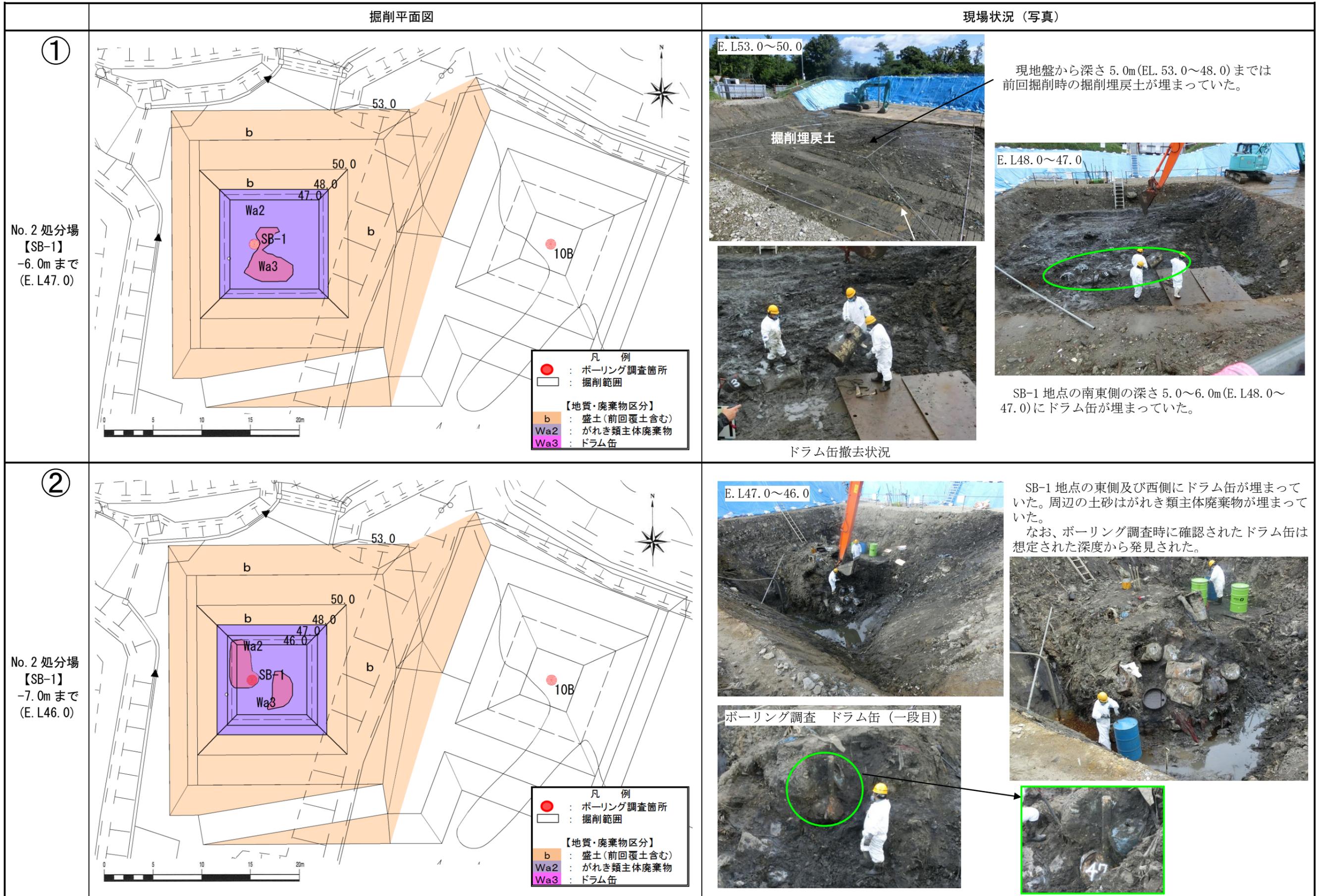
11月15日 深さ 7.0~8.0m



11月22日 掘削完了(深さ 約9.0m)



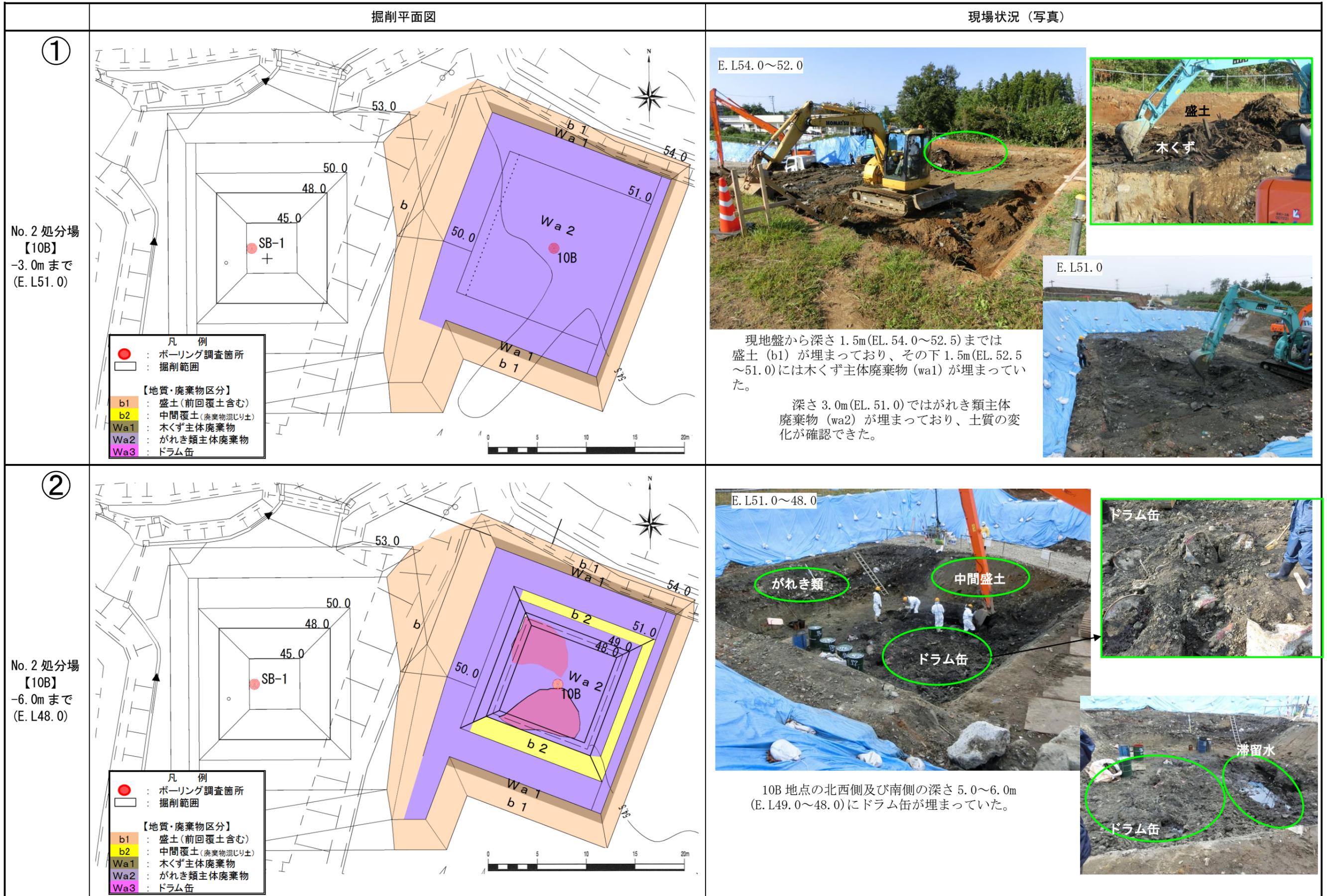
# 深さ別の廃棄物分布状況 (NO.2 処分場) SB-1 (西側)



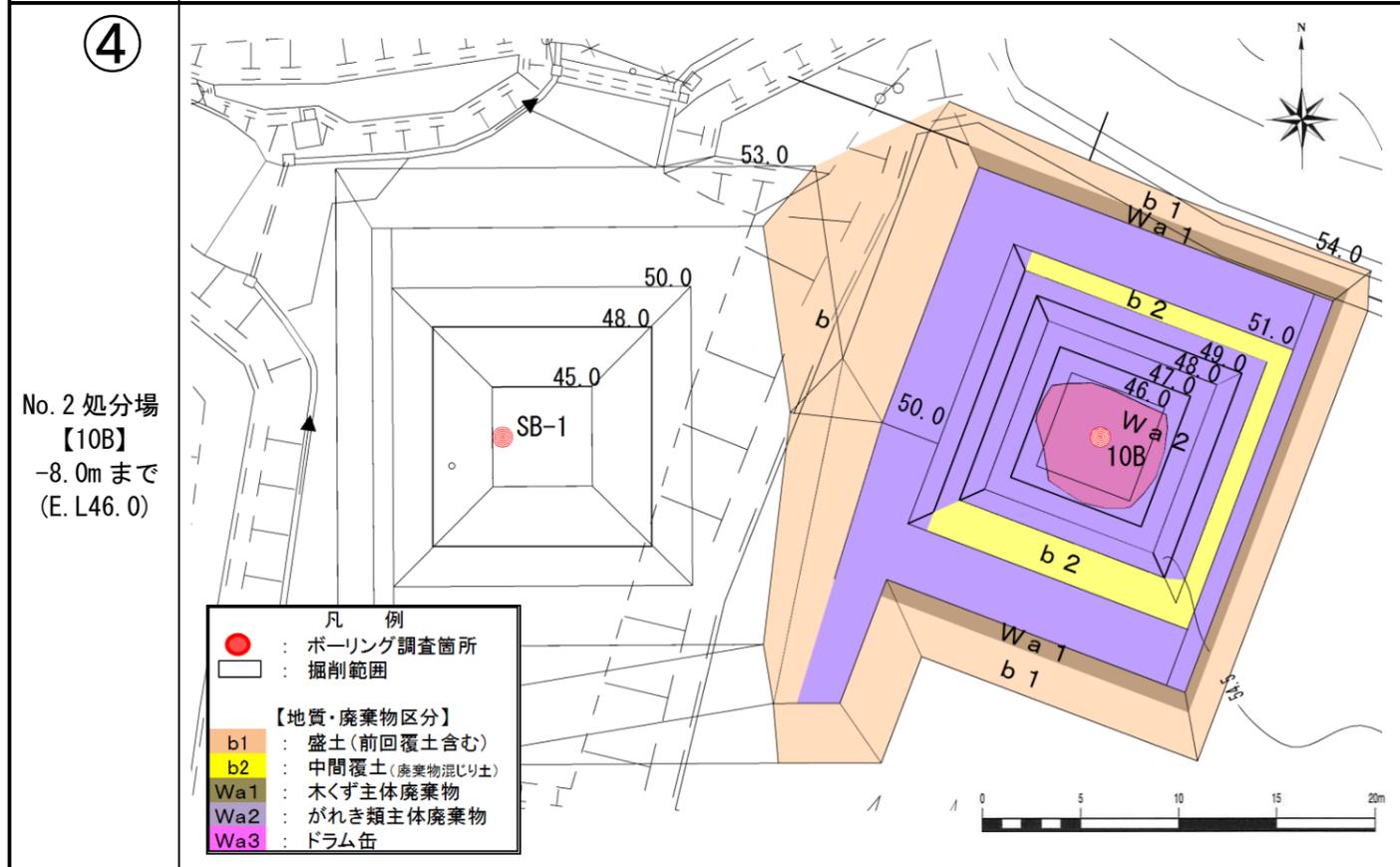
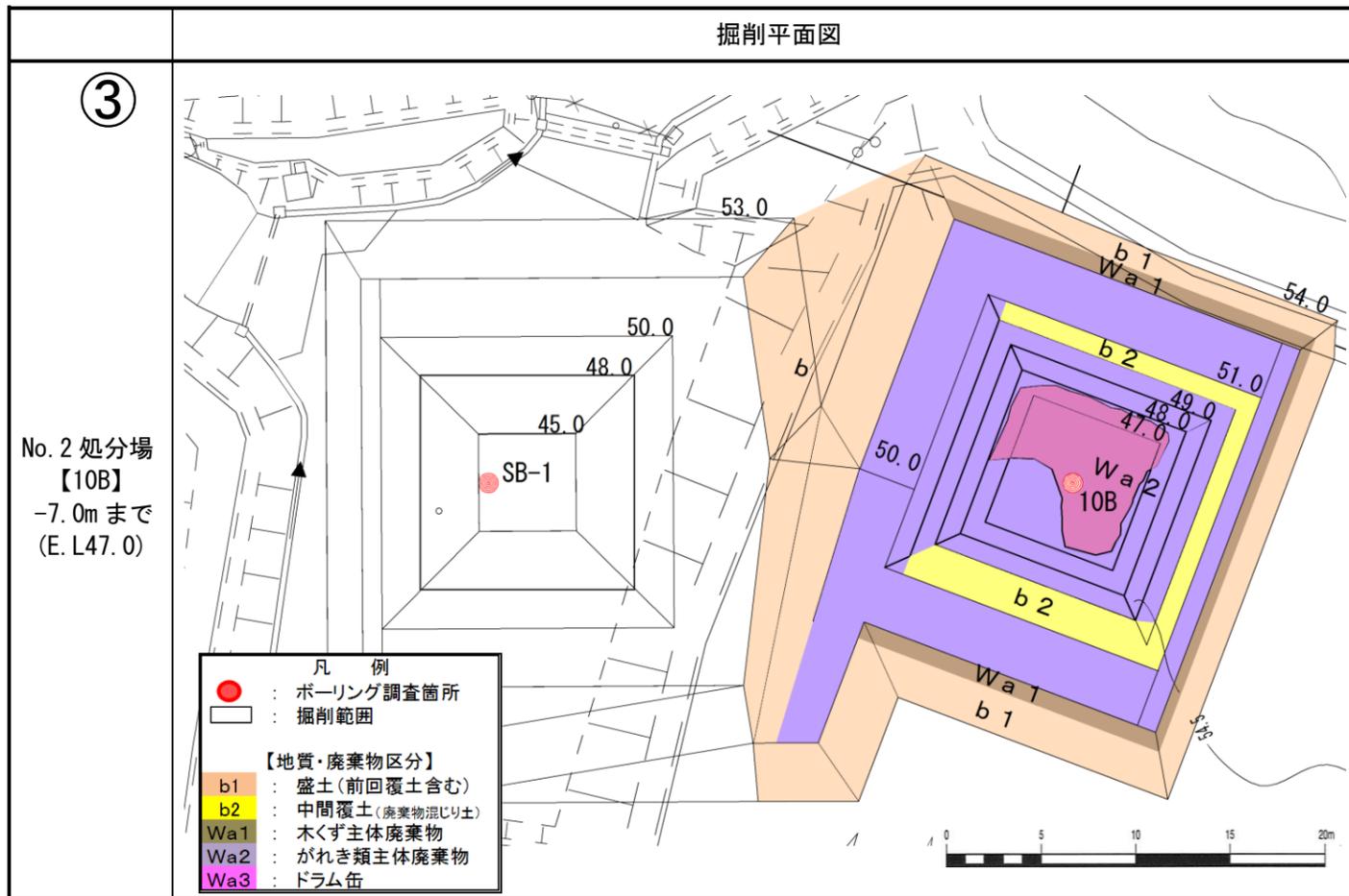
# 深さ別の廃棄物分布状況 (NO.2 処分場) SB-1 (西側)

	掘削平面図	現場状況 (写真)
<p>③</p> <p>No.2 処分場 【SB-1】 -8.0m まで (E.L45.0) 完成底面</p>	<p>凡 例</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● : ボーリング調査箇所</li> <li>□ : 掘削範囲</li> </ul> <p>【地質・廃棄物区分】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>b : 盛土 (前回覆土含む)</li> <li>Wa2 : がれき類主体廃棄物</li> <li>Wa3 : ドラム缶</li> </ul>	<p>E.L45.0 (底盤部)</p> <p>E.L46.0~45.0</p> <p>ドラム缶</p> <p>SB-1 地点の深さ 7.0~8.0m (E.L46.0~45.0) ではボーリング位置を中心としてドラム缶が埋まっていた。 なお、底盤部においてドラム缶は残存していなかった。</p>

# 深さ別の廃棄物分布状況 (No. 2 処分場) 10B (東側)



# 深さ別の廃棄物分布状況 (No. 2 処分場) 10B (東側)



# 深さ別の廃棄物分布状況 (No. 2 処分場) 10B (東側)

	掘削平面図	写真
<p>⑤</p> <p>No. 2 処分場 【10B】 -9.0m まで (E. L45.0) 完成断面</p>	<p>凡例</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● : ボーリング調査箇所</li> <li>□ : 掘削範囲</li> </ul> <p>【地質・廃棄物区分】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>b1 : 盛土(前回覆土含む)</li> <li>b2 : 中間覆土(廃棄物混じり土)</li> <li>Wa1 : 木くず主体廃棄物</li> <li>Wa2 : がれき類主体廃棄物</li> <li>Wa3 : ドラム缶</li> </ul>	<p>写真</p> <p>E. 45.0 (底盤部)</p> <p>深さ 9.0m (E. L45.0) ではボーリング箇所を中心として、ドラム缶が埋まっていた。 なお、底盤部においてドラム缶は残存していなかった。</p>